

2025年2月25日(火)

2374号 (毎月25日発行) (大阪版)

1950年12月16日第三種郵便物認可

1部160円 月額470円(郵送料込)月額120円)

# 平和新聞

発行 日本平和委員会  
〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
電話 03(3451)6377 FAX 03(3451)6277

大阪版編集 大阪平和委員会  
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-3-4 新谷町第三ビル210号  
電話 06(6765)2840 FAX 06(6765)2837  
E-mail:osk-heiwa@able.ocn.ne.jp http://www.osk-heiwa.org

## 被爆80年を核兵器のない世界、 非核平和の日本への転換の年に

### 1月25、26日 関西原水協学校in京都開催

戦後・被爆80年の年を迎え、1月25日26日京都嵐山で関西原水協学校が開催されました。全体で70人の参加で、大阪からは18人が参加しました。

第1講義は、日本共産党副委員長・国際局長の緒方靖夫さんは、「内外情勢と反核平和運動の発展のために」

被団協のノーベル平和賞受賞の意義と、一方でロシアの核兵器使用基準引き下げや、アメリカの核兵器使用計画指針など核兵器をめぐる危険な状況に触れ、来年開催のNPT再検討会議の重要性を指摘されました。トランプ政権、ウクライナやガザの状況、ASEANの経験、中国との関係、欧州の極右の台頭、世界を視野に入れた学び多いお話でした。

第2講義は、高知太平洋被災センター共同代表の濱田郁夫さんの「ビキニ事件から70年―核廃絶を願って―」1954年のビキニ環礁水爆実験被害以降の取り組みと歴史的な位置づけ、特に高知での調査や裁判闘争について、詳しくわかりやすくお話いただきました。3.11ビキニ前に学びたい内容でした。



## 自衛隊への名簿提供は中止を！ 署名を広げよう！！

### 第3回口頭弁論を 傍聴して

奈良市は2023年に自衛隊からの求めに応じて、18歳と22歳を迎える市民の個人情報4項目(氏名、住所、性別、生年月日)を本人の同意なく提供しました。それをもとに自衛隊が入隊勧誘のダイレクトメールを送付したことは憲法13条で保障されたプライバシー権を侵害するとして、同市在住・高校生3年生(当時)のRYUさん(仮名)が、昨年3月、国と市を相手どった国家賠償請求訴訟を奈良地方裁判所に起こしました。これがRYU裁判です。

原告代理人の毛利弁護士は「奈良市民の利益を重視すべき市長が市民の不利益を被ることを執行することはできない」と弁論。ミニ講演では諸富弁護士が「国と奈良市の指定代理人重複問題」を説明されました。「国と奈良市の指定代理人が同一で、国の職員が代表として準備書面に押印しています。国と奈良市の利害は対立する場合があります。市民の命を守るべき地方自治体は国の命令に抵抗すべきです」と。

この裁判のなかで、自衛隊員の賭命義務、自衛隊員の権利、戦力のなかには自衛隊員が含まれていること、地方自治体と国の関係、地方自治体の二元代表制などの論点がクローズアップされています。70年代の公害裁判の中から環境権が認められたような展開がこの裁判から生まれる予感を持ちます。

今回の口頭弁論は3月18日14時30分奈良地裁です。RYUさんの勇気ある決断に報いるためにも多くの方の傍聴と署名をお願いします。

### 奈良地裁宛 違憲性の判断と原告の人権救済

自衛隊名簿提供違憲訴訟について

国と奈良市による名簿提供、利用行為の違憲性・違法性を判断し、原告の人権救済を求める要請書

国宛て署名 名簿提供要請中止を求める

自衛官等及び陸自高等工科学校募集目的のための自治体への名簿提供要請・住基台帳閲覧請求と、戸別訪問の中止を求める要請書(案)



署名は2種類

10月8日の佐藤弁護士の学習会「戦争する国に向けて～変質する自衛隊」のDVDができました。自衛隊について学習しませんか。1枚500円です。申し込みは大阪平和委員会まで



自衛隊への名簿提供は中止を！  
**署名スタート学習会**  
学習会  
自衛隊名簿提供違憲訴訟とは～高校生の個人情報自衛隊にわたすな～  
講師 愛須 勝也弁護士  
自衛隊名簿提供違憲訴訟弁護団  
4月10日(木)18:30～20:00  
大阪府社会福祉会館 4F403  
参加費無料



6.9行動  
2月6日 上六交差点  
12月6日、上本町六丁目交差点で6・9行動を行いました。参加者は18人で20筆の署名との協力がありました。



# わがまち、大阪湾の平和利用求め交渉

2025年1月31日 大阪平和委員会

昨年、11月7日、大阪南港J岸壁に米軍の掃海艇パトリオットが入港してきました。安保破棄実行委員会、平和委員会、原水協、非核の会の4者で抗議をし、大阪市にも「米軍艦の大阪港入港を許可しないことを求める要請」を行っていました。

1月31日、大阪市役所で、この問題で安保破棄実行委員会、大阪原水協、非核の会、大阪平和委員会の6名と大阪市港湾局課長ふくめ5名で話し合いが行われました。

その中味は、①「大阪港の平和利用に関する決議」や「平和都市宣言」の立場に立つて港湾管理者としての権限を行使すること。②今回のパトリオットの入港に際して、大阪港湾局が外務省及び米国領事館に核兵器搭載の有無の確認、民間港湾に米軍艦入港に関しての見解・根拠について問い合わせされたのか。③大阪港の軍事優先の港にしないように、市民の安全、安心を保障するために市の態度の変更を求める。④「非核三原則」を厳格にふまえた方法の改善を求める。以上です。

どの項目に対しても大阪市港

湾局は米軍艦入港に対して、国の大軍拡方針のもとでは、港湾局の対応は、市民の安全第一に、懸命に対応され、これが港湾局として精一杯だったのかなと思える回答でした。

参加して思ったのはアメリカ優先、大軍拡の政府をかえる市民運動の大切さを感じました。平和委員会でも、市民のくらしにどんどん押し寄せる戦争準備を食い止めるため、幅広い取り組みをしていきたいと思います。戦後・被爆80年、今、運動を地域、学園、職場に広げるチャンス、がんばりたいと思います。

吉田一江



# 「看護師が見た ガザ」講演会

一瞬のうちに日常がこわされる「戦争」  
「あきらめないで、自分に何ができるかを求めよう」

2月15日 天王寺平和委員会総会

57人参加



出てきて、聞いている私たちも、「ガザの人々と繋がっている」と実感する臨場感あふれるお話でした。川瀬さんの報告の中に「あきらめない」「どんな状況でも、自分に何が出来るのかを考える」の言葉が何回か出てきて、聞く者のこころに強く残りました。感想文や募金2万1千円もよせられ、後日、「人道募金」として届ける予定です。

2月15日 市立社会福祉センターで、第15回天王寺平和委員会総会を開きました。

記念講演は川瀬佐知子さん（大阪赤十字病院 国際医療救援部看護師）の「看護師が見た ガザ」。

川瀬さんは、今回のガザ地区の武力衝突（2023年10月7日）時、ガザの病院で活動をしていて、直面した惨状とガザの人々の状況、一変したガザ地域での医療チームの活動について話していただきました。

今年2月19日以降停戦の方向に動いています。まだ予断を許さず、4万6千人以上の方がなくなり、その多くが女性と子どもたち。現地の人々の「いのちを守る」ための必死の言葉が、講演の中で次々に



「でもその人が一生かけてたどり着いた言葉が何十年何百年後の人たちに受け渡されることがある。そのおかげで一人一人の人生は短くても、私たちは誰かの言葉の先に思想を進められる。それが読書の醍醐味というものだ。」光州事件を題材にしたハンガンの小説『少年が来る』の中で出会ったことば：だった気がする。（上羽）

## 【3月の行事案内】

- 1日(土) 3.1ピキニデー
- 5日(水) 第7回常任理事会 18:00～ オンライン併用
- 6日(木) 6・9行動 12:00～上本町六丁目交差点
- 7日(金) 9の日宣伝 17:30～
- 国際女性デー大阪集会 18:30～ ドーンセンター
- 8日(土) なくせ原発おおさか集会 14:00～ エルシアター
- 14日(金) 沖縄連帯行動 12:00～ 上本町六丁目交差点
- 韓国映画から民主化闘争を学ぶ会 14:00～
- 16日(日) 保険医協会市民公開学習会 14:00～M&Dホール
- 18日(火) RYU 裁判第4回口頭弁論 14:30～ 奈良地裁
- 22日(土) 旭区平和の会総会 14:30～千林くらしエール館
- 23日(日) 春の憲法大学習会 13:30～エルおおさか南館ホール
- 28日(木) 韓国映画から民主化闘争を学ぶ会 14:00～

## 沖縄連帯行動 2月14日9名で実施



12月13日正午から近鉄上本町駅前「沖縄連帯行動」を9名の参加で実施しました。道行く人に「辺野古新基地建設ではなく、普天間の無条件返還を」「埋め立てに遺骨の入った土砂を使うな」などと訴えました。親が自衛官だと言う男子学生がマイクを握って「戦争反対」と訴えてくれました。11筆の署名が集まりました。